

あらゆるチャレンジが可能な地域

様々な分野におけるイノベーションにつながる新たなチャレンジを実施できる地域となることを目指す

地域を実証フィールドとして活用する企業等の呼び込み



ドローンによる実証試験

○福島浜通りロボット実証区域

ロボットの研究開発を積極的に支援するため、県内の橋梁やダム、河川、山野などを実証試験や操縦訓練の場として提供。

試験誘致件数：1,594件
(H30年7月からR7年2月末まで)

○浜通り地域等への企業誘致

優れた立地環境や各種優遇制度等を紹介するセミナー、産業団地を巡る現地見学ツアー、個別現地案内等実施し、浜通り地域等への企業誘致を促進。

浜通り地域等における
累計企業立地件数・雇用創出数

企業立地件数：433件
雇用創出数：4,972人(R6年3月末時点)
※新増設に対する補助金の採択ベース



企業立地セミナー



実用化開発事例

○地域復興実用化開発等促進事業

地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等を促進。延べ554件の事業を採択(H28～R6)

- ・H28：46件
- ・H29：68件(うち新規採択33件)
- ・H30：83件(うち新規採択35件)
- ・R1：61件(うち新規採択31件)
- ・R2：69件(うち新規採択29件)
- ・R3：70件(うち新規採択38件)
- ・R4：60件(うち新規採択20件)
- ・R5：53件(うち新規採択21件)
- ・R6：44件(うち新規採択20件)

○イノベーション創出プラットフォーム事業

Fukushima Tech Create
…起業・創業ステージに応じた3つのプログラムにより、イノベ地域において事業化に至るまでの様々な支援を実施。

支援実績

- ・ビジネスアイデア事業化プログラム…採択18件
- ・アクセラレーションプログラム…採択10件
- ・先端技術事業化アクセラレーションプログラム…採択7件



Fukushima Tech Create2025 成果報告会

交流人口・関係人口の拡大 情報発信

○東日本大震災・原子力災害伝承館

複合災害の記録や教訓、復興の歩みを未来に継承し、防災・減災に生かしていく施設。展示や語り部講話等を通じて国内外に情報を発信。

令和7年1月 来館者数35万人達成



展示コーナー

○福島イノベ構想シンポジウム

構想の進捗状況等について、幅広い層への認知を促進させるとともに構想の理解を深化させることを目的としたシンポジウムを開催。

12月7日 稲葉町コミュニティセンター
来場者数：195名(オンライン視聴：64名)



イノベ構想シンポジウム

○地域住民向け「見える化セミナー」

構想を身近に感じるためのセミナーを開催。

- ・10/19 見える化セミナー 富岡
参加者：30名
- ・12/21 見える化セミナー 白河
参加者：147名
- ・1/26 見える化セミナー いわき
参加者：322名



見える化セミナー
福島イノベ構想ってなあに？

地域の企業が主役

最先端分野だけでなく、地域に根ざした産業を含め地元企業が幅広く構想に参画できるよう、地元企業と進出企業の連携を広域的に進める

地元企業の参画拡大、県内他地域との連携強化



福島廃炉産業ビジネス総合展

○廃炉関連産業マッチングサバート事務局

元請企業と県内企業のマッチング支援
R6年度までの成約実績：1,475件
(R7年2月末時点)

- ・交流会開催
第1回 元請 10社、県内企業 25社 参加 (8/7)
- 第2回 元請 5社、県内企業 21社 参加 (1/28)
- ・廃炉スタディーツアー開催
第1回 14社 (25名) 参加 (7/9~10)
- 第2回 8社 (14名) 参加 (10/8~9)
- ・福島廃炉産業ビジネス総合展 (10/30)
- 45ブース出展、参加者 519名



福島イノベ倶楽部視察会

○福島イノベ倶楽部

異業種間の連携、地域間の連携、地元企業と進出企業との連携による新事業の創出や取引拡大を目指す異業種交流の場。

会員数：171企業・団体
(正会員135、賛助会員36)

- ・総会・交流会 (7/4 いわき市)
- ・視察会・交流会 (10/30 宮城県角田市、仙台市内)
- ・研修会・交流会 (2/12 南相馬市)

○福島イノベ企業合同プレス発表会の開催

浜通り地域等への進出企業や新しい取組を行っている地元企業等の活動を支援するため、取組内容や成果を広く発信する合同プレス発表会の開催。

- 第1回 (7/5) 発表企業3社(ドローン関係の事業化開始製品)
- 第2回 (10/9) 発表企業1社(日本で初めて商用運用に成功)
- 第3回 (1/21) 発表企業5社(RTFをテーマに東京で開催)
- 第4回 (2/12) 発表企業1社(耐火塗料木材パネルが大臣認定合格)



合同プレス発表会

構想を支える人材育成

自立的・持続的な産業発展を成し遂げるため、地域でイノベーションを生み出す人材と産業集積を支える人材を育成する

小中学校、高校におけるキャリア教育の推進



ふるさと創造学サミット

第11回双葉郡ふるさと創造学サミット
(11月30日開催)
725名参加
(児童生徒493名、教職員・関係者232名)

○小中学校

構想の実現に貢献する人材育成の裾野を広げるため、双葉郡8町村が連携して取り組む探究的な学習「ふるさと創造学」の実施を支援。

○高等学校

福島イノベ構想の実現に貢献する人材育成成果報告会
構想に関する教育プログラムの成果報告会を開催。
県内高校21校、約140名参加
(2/17 郡山市)

○ふくしまイノベ未来講座(広域連携促進事業)

福島県内全域の学校に対して、イノベ構想に関わる有識者を招聘する出前講座。



ふくしまイノベ未来講座

福島イノベ構想産業人材育成・確保事業
工業高校生等を対象とした地元企業の見学等の取組を支援し、地元就職を促進する事業。



福島イノベ構想産業人材育成・確保事業

大学等による教育研究活動(復興知事業)

イノベ地域での人材育成基盤の構築を目指し、大学等の教育研究活動を支援。

17大学等21プロジェクトを採択



活動事例：浜通り環境放射能研修(大阪大学)

福島国際研究教育機構

福島国際研究教育機構(F-REI)の機能の最大化

令和6年6月に、F-REI、福島イノベ構想推進機構、県の3者で包括連携協定を締結。協定に基づき、中通り・会津地域でセミナー・座談会を合同で開催したほか、県内大学等へのトップセミナーの開催、50を超える委託研究の実施など、「創造的復興の中核拠点」を目指した取組を着実に実施。



F-REI、福島イノベ構想推進機構、県による包括連携協定締結



イノベ構想参画促進セミナー・F-REI 市町村座談会(県南地域)

イノベ構想推進分科会

第5回福島イノベーション・コースト構想推進分科会の開催

復興副大臣、経済産業副大臣兼原子力災害現地対策本部長、知事が共同議長として、浜通り地域等15市町村長や有識者他とともに、福島イノベ構想の更なる発展に向けた情報共有や意見交換等を実施。

(6/24 いわき市)



イノベ構想推進分科会

課税の特例

課税の特例(イノベ税制)

イノベ構想の重点分野の取組を推進するため、新産業創出等推進事業を行う事業者を対象として固定資産税の課税免除等により支援。

- 令和6年度認定実績
- ・航空宇宙分野に係る取組(南相馬市ほか)
- ・農林水産業分野に係る取組(川俣町) など
- 計4件



活用事例：インターステラテクノロジズ(株)